

## 2019年度第2回執行理事会議事録

期日：2019年7月25日（木）13:00～17:00

場所：学会事務局

出席者：松田会長，佐々木副会長，斎藤常務，西，安藤，ウォリス，岡田，辻森，中澤

欠席者（委任状提出あり，カッコ内は委任者）：田村，磯崎，星，坂口，小宮，平田，大藤，廣木，緒方

欠席者（委任状なし）：

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者9名，委任状9名，合計18名の出席

\*6月議事録の確認

### I 審議事項

#### 1) 各賞の推薦および委員会の在り方について

各賞の推薦の在り方，選考委員会（および選考検討委員会）構成などの問題点について，学術研究部会磯崎理事に規則変更に関わる原案作成を依頼することとした。

#### 2) 選挙の開票立会人（2名）の選出（立会日程は，代議員・理事選挙の各開票日1/15，3/11を予定）

金沢直人（中央開発），尾張聡子（東京海洋大）会員に依頼することとした。

#### 3) HP 質問窓口「地質学者に答えてもらおう」の受け入れ体制の再検討について

質問への回答対応が遅れているので，広報委員会で未回答の案件を確認した上で，まずは回答対応を行い，回答に関する委員会組織を整備するなど今後の対応を検討する。HP 質問窓口については受付を一時停止することとした。

#### 4) チャレンジ地球2019（地学オリンピック支援委員会）の実施について

前回同様「クイズ30」と「ジオパーク探検」のセットで東京・大阪2会場で実施予定。計画を承認した。

＜東京会場＞クイズ30：12/15（日）東京大学，ジオパーク探検：11/23（土）筑波山地域ジオパーク

＜大阪会場＞クイズ30：12/15（日）大阪教育大学，ジオパーク探検：11/10（日）山陰海岸ジオパーク

#### 5) その他

- ・各賞選考規則の文中の「授賞」と「受賞」の表記（および文章の）統一について：条文の不統一が確認されたので，常務理事が文案を作成し次回の執行理事会で検討し，理事会の議を受ける。
- ・事務局業務の引継ぎの未了部分について，橋辺氏に助力を受けることにする。

### II 報告事項

#### 1. 全体的報告

1) 選挙管理委員会の体制について

委員長:飛田(応用地質), 委員:天野(産総研), 上栗(茨城大教育), 野崎(平塚市博), 吉田(JAMSTEC)に依頼し, 委員会を発足する見込みとなった. 次の理事会で承認を受ける.

2) 学研より, 図鑑 LIVE『岩石・鉱物・化石』(2020年6月発行予定)へ「県の石」の紹介を掲載したいとの希望があり, 承諾した.

3) 連合ニュースレター(JGL)に一家に1枚「日本列島7億年」についてのトピック記事が掲載される(辻森執筆, 8月配布予定).

4) GSSP(千葉セクション)認定申請に関わる地質学会の対応について

会長が高木顧問弁護士に相談し, 学会としては, 今後あくまで学術的重要性を鑑みた立場から見解を発信することを確認した.

2. 運営財政部会:総務委員会(緒方・西)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1) 三浦半島活断層調査会より観察会「深海から生まれた城ヶ島」(10/6)の後援依頼を承諾.

2) 北淡国際活断層シンポジウム2020(2020/1/14-17)の後援依頼を承諾.

3) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団2019年度学術研究助成(非動物分野(地学・植物学))募集. 締切9/1. →News誌, geo-flashに掲載.

4) 2019年度朝日賞候補者推薦依頼(締切8/26). 学会締切8/5. →HPに掲載.

5) 第41回沖縄研究奨励賞候補者推薦依頼(締切9/30). 学会締切9/6 →News誌, geo-flashに掲載.

6) 日本アイソトープ協会奨励賞(新設)(締切10/31). →News誌, geo-flashに掲載予定.

7) 土木学会より役員交代の挨拶(会長 林 康雄ほか)

<会員>

1) 今月の入会者(27名)

正会員(5名) 蛭田明宏, 浅沼 尚, 内田嗣人, カン ジフン, 北沢淳史

正(院生割引)会員(19名) 新部貴理, 土井信寛, 後藤寛貴, 安西みゆき, 池上晴希, 清水和冬, 古賀一恕, 山口滉介, 吉田一貴, 三浦優奈, 安邊啓明, 大西 滯, アンワロフ オタバク, 夏川寛央, ハリスマ ブブランダ, 朝日啓泰, 梶田侑弥, 佐藤玄希, 原田正信

正(学部学生割引)会員(3名) 田中くおれ, 曾川 裕, 大澤研斗

2) 今月の退会者(2名)

正会員(2名) 林 愛明 池田啓貴

3) 今月の逝去者 なし

4) 2019年6月末日会員数

賛助:27, 名誉:51, 正会員:3446 [正会員:3348, 正(院割)会員:94, 正(学部割)会員:4]  
合計 3524 (昨年比 -133)

・今後, 院生会員の増加策について検討していく.

<会計>

特になし

3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮）【→審議事項参照】

4. 学術研究部会（磯崎・ウォリス・岡田・辻森）

1) 行事委員会（岡田）

- ・ 7/3 に山口大会講演申込を締め切り，世話人によるプログラム編成，校閲作業を進め，全体日程を確定した．講演予定数 569（口頭 334，ポスター 235）．

2) 国際交流委員会（ウォリス）

- ・ 大韓地質学会との交流のため，会長とウォリス理事が 10 月の総会（済州島）に参加する．
- ・ 日韓台の 3 学会交流プログラムについてもその際に検討する予定である．

3) JIS, 標準担当（中澤）

- ・ 標準層序に関する解説ページを学会 HP 上に準備中
- ・ 12 月に標準層序に関するシンポジウムを首都圏で開催することを検討し，チバニアンについても話題として取り上げる．

5. 編集出版部会（大藤・田村）

1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）

(1) 編集状況報告（7 月 15 日現在）．通常論文では昨年と同等くらいの実績で進行中

- ・ 2019 年投稿論文：42 編 [内訳] 論説 21（和文 19・英文 2），レター 1（和文 1），総説 4（和文 4），ノート 1（和文 1），報告 7（和文 6・英文 1），口絵 2（和文 2），巡検案内書 6，査読中：40 受理済み：18（うち特集号 5，案内書 4）
- ・ 125 巻 7 月号：特集号「富山トラフと周辺部の堆積作用と後背テクトニクス その 1（世話人：高野修ほか）」5 編，山口大会巡検案内 2 編 計約 100 頁，7/23 校了，7/31 発送予定．
- ・ 125 巻 8 月号：山口大会巡検案内 4 編掲載予定．
- ・ 巡検案内書全 7 編（巡検 8 コース中アウトリーチ A コースは掲載なし）のうち，6 編受理済．残り 1 編については，大会開催までの期間で，なるべく早い受理を目指す．

2) アイランドアーク編集委員会（田村）

- ・ IF 向上策について編集委員会体制の更新に合わせて，検討していく．
- ・ AE, Advisory Board の人選，体制についても見直しをする．

3) 企画出版委員会（小宮）

特になし

6. 社会貢献部会（星・廣木・中澤）

- ・ 地震火山子どもサマースクール（星）：今年度（丹後）の参加者は 17 名で実施予定．  
次年度（2020 年度）の開催地は，浅間山ジオパーク推進協議会が提案した群馬県吾妻郡嬭恋村・

長野原町に決定.

7. 地質技術者教育委員会 (佐々木)

- ・前回執行理事会で承認を受けた委員による, 第1回目の委員会を8月9日開催予定.

8. ジオパーク支援委員会 (平田)

特になし

9. 地学オリンピック支援委員会 (星) 【審議事項参照】

- ・チャレンジ地球 2019 の宣伝のため, 青少年の科学の祭典東京大会 in 小金井 (9/22) へブース出展を予定 (7/31 締切). ブースタイトル「チャレンジ地球～石ころからわかること～」.

10. 地質災害委員会 (斎藤)

- ・防災国体へのブース出展は会場の都合により取りやめになった.

以上

2019年9月2日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長 (代表理事) 松田博貴

署名人 執行理事 斎藤 眞